

(3) 沿革

- 明治 41. 5. 1 (1908) 埼玉県大里郡深谷町尋常高等小学校に修業年限2ヶ年、高等小学校卒業を入学資格とする通年昼間制の深谷女子実業補習学校併設の許可を得、深谷尋常高等小学校飯島周作校長事務取扱いとなる。
- 明治 42. 4. 1 (1909) 深谷尋常高等小学校長小林常重校長事務取扱いとなる。
- 大正 3. 4. 1 (1914) 深谷女子尋常高等小学校長小林治輔校長事務取扱いとなる。
- 大正 7. 4. 1 (1918) 深谷尋常高等小学校長井原豊吉校長事務取扱いとなる。
- 大正 9. 1. 1 (1920) 深谷尋常高等小学校長小林倭子校長事務取扱いとなる。
- 大正 10. 4. 1 (1921) 学則を改め校名を深谷実践女学校と改称、尋常小学校卒業を入学資格として修業年限を4ヶ年とする。小学校長小林倭子、実践女学校事務取扱いとなる。
- 大正 11. 11. 28 (1922) 全国優良補習学校として文部大臣より選奨される。
- 大正 13. 4. (1924) 卒業生に対し尋常小学校准教員無試験検定の特典を与えられる。
- 大正 15. 4. 1 (1926) 学則を変更し校名を深谷実科高等女学校と改称し、修業年限4ヶ年生徒定員200名とする。
- 昭和 7. 4. 1 (1932) 深谷尋常高等小学校長笠間与作校長事務取扱いとなる。小学校の校地移転に伴い校地・校舎本校専用となる。
- 昭和 15. 4. 1 (1940) 森田保平初代校長に就任する。
- 昭和 15. 4. 1 (1940) 校名を埼玉県深谷高等女学校と改称し、生徒定員400名となる。
- 昭和 19. 2. 26 (1944) 杉山兼吉校長に就任する。
- 昭和 21. 4. 1 (1946) 修業年限5ヶ年に延長する。
- 昭和 22. 4. 1 (1947) 新学制実施により新制中学校を併設し、高等女学校第3学年第2学年を以って夫々併設中学校の第3学年第2学年とする。(併設中学校第1学年生徒を募集せず)
- 昭和 23. 4. 1 (1948) 新学制により埼玉県深谷女子高等学校と改称し、3ヶ年制生徒定員450名となる。新校舎第1期工事完了、埼玉県大里郡幡羅村大字原郷1,018番地に移転する。(面積31,680 m²)
- 昭和 23. 5. 1 (1948) 校章を制定する。
- 昭和 24. 4. 1 (1949) 県立に移管され埼玉県立深谷女子高等学校と改称する。(3ヶ年制生徒定員450名)校歌を制定する。
- 昭和 24. 7. 15 (1949) 第2期工事完了。
- 昭和 25. 9. 15 (1950) 第3期工事完了。
- 昭和 25. 10. 15 (1950) 校地整地完了。
- 昭和 27. 4. 1 (1952) 生徒定員600名となる。
- 昭和 28. 4. 1 (1953) 黒田義平校長に就任する。
- 昭和 28. 4. 30 (1953) 増築校舎竣工する。(361.55 m²)
- 昭和 28. 5. 6 (1953) 増築校舎落成祝賀式を挙げる。
- 昭和 30. 4. 1 (1955) 町村合併により敷地は埼玉県深谷市大字原郷1,018番地となる。飯泉憲司校長に就任する。
- 昭和 31. 4. 1 (1956) 生徒定員750名となる。
- 昭和 32. 4. 1 (1957) 横田薫校長に就任する。
- 昭和 32. 12. 4 (1957) 増築校舎(280.99 m²)竣工、落成式を挙げる。
- 昭和 33. 4. 1 (1958) 生徒定員900名となる。
- 昭和 33. 8. 8 (1958) 国有地買収に伴い地番変更深谷市大字原郷995番地
- 昭和 34. 12. 2 (1959) 鉄筋コンクリート校舎増改築第1期工事竣工(1,313.95 m²)
- 昭和 35. 1. 13 (1960) 校舎増改築第1期工事落成式を挙げる。
- 昭和 35. 4. 1 (1960) 横塚林次校長に就任する。
- 昭和 35. 8. 20 (1960) 自転車置き場棟完成する。(330.57 m²)
- 昭和 37. 2. 4 (1962) 旧修徳寮を移転改築して合宿所完成する。(延161.58 m²)
- 昭和 37. 4. 1 (1962) 生徒定員1,200名となる。
- 昭和 37. 8. 5 (1962) 更衣室兼弓道場(木造平屋建126.43 m²)落成式をかねて弓道大会を開催する。
- 昭和 37. 9. 20 (1962) 鉄筋コンクリート校舎増改築第2期工事竣工(1,937 m²)
- 昭和 37. 11. 16 (1962) 校舎増改築第2期工事落成祝賀式を挙げる。
- 昭和 38. 1. 30 (1963) 入学志望者急増対策として昭和38年度生徒定員1,300名となり、第1学年募集人員500名と決定される。
- 昭和 38. 11. 15 (1963) 体育館兼講堂建設工事竣工(1,125.02 m²)

- 昭和 40. 3. 20(1965) 管理棟校舎建築工事竣工 (2, 209. 05 m²)
- 昭和 40. 5. 14(1965) 同上祝賀式挙行
- 昭和 40. 10. 30(1965) 正門設置 (入峰石造)
- 昭和 41. 1. 25(1966) 4 1 年度生徒定員 1, 250 名となり, 第 1 学年募集人員 450 名と決定される。
- 昭和 41. 4. 1 (1966) 柿沼松之助校長に就任する。
- 昭和 42. 3. 31(1967) 校地周囲のブロック塀完成。町名変更により学校の所在位置は深谷市常盤町 2 1 番地の 1 となる。
- 昭和 42. 4. 1 (1967) 生徒定員 1, 400 名となる。(従来は完成年度の全学年定員に第 1 学年の臨時募集定員を加えたものを以って定員としたが、今回上記の如く改められた。)
- 昭和 43. 4. 1 (1968) 生徒定員 1, 341 名となる。
- 昭和 44. 4. 1 (1969) 飯島武一校長に就任する。
- 昭和 45. 3. 31(1970) 第 2 期運動場取得 地積 6, 912. 20 m²。
- 昭和 45. 4. 1 (1970) 生徒定員 1, 296 名となる。
- 昭和 46. 4. 1 (1971) 生徒定員 1, 269 名となる。
- 昭和 47. 4. 1 (1972) 生徒定員 1, 242 名となる。
- 昭和 48. 4. 1 (1973) 生徒定員 1, 179 名となる。第 1 学年より臨時学級を解消し, 8 学級編成となる。川田実校長に就任する。
- 昭和 49. 4. 1 (1974) 生徒定員 1, 125 名となる。
- 昭和 50. 4. 1 (1975) 生徒定員 1, 080 名となる。
- 昭和 51. 4. 1 (1976) 埼玉県立深谷第一高等学校と改称し, 男女共学となる。生徒定員 1, 080 名。校長川田実 埼玉県立大宮商業高等学校長に転補。森田信雄校長に就任する。校章を制定する。
- 昭和 52. 3. 10(1977) 校旗を制定する。
- 昭和 53. 6. 20(1978) 「70 周年記念館」竣工、820 m²
- 昭和 53. 7. 12(1978) プール竣工、プール開き、25 m, 8 コース (県費)
- 昭和 53. 10. 28(1978) 創立 70 周年記念式典挙行、70 周年記念誌を発行する。
- 昭和 54. 4. 1 (1979) 岩田敏校長に就任する。
- 昭和 55. 11. 30(1980) 特別教室棟校舎建築工事竣工 (延 1, 768. 82 m²)
- 昭和 59. 4. 1 (1984) 校長岩田敏埼玉県立教育センター所長に転補。久保田正義校長に就任する。
- 昭和 59. 11. 2 (1984) 格技場建築工事竣工 (849. 38 m²)
- 昭和 60. 1. 31(1985) 部室棟建築工事竣工 (496 m²)
- 昭和 60. 3. 20(1985) 北グラウンド防球ネット 93 m 設置
- 昭和 60. 3. 30(1985) 東門、自転車置場 5 棟、舗装、植栽工事完成
- 昭和 60. 8. 26(1985) 北グラウンド防球ネット 80 m 設置
- 昭和 61. 3. 27(1986) ブロック塀改修工事完成 (1, 072 m)
- 昭和 61. 3. 31(1986) 久保田正義校長退職。
- 昭和 61. 4. 1 (1986) 佐藤信男校長に就任する。生徒定員 1, 088 名となる。
- 昭和 61. 9. 9 (1986) グラウンド整備工事完成
- 昭和 61. 9. 10(1986) 北グラウンド防球ネット増設 105 m
- 昭和 62. 3. 31(1987) テニスコート整備工事完成
- 昭和 62. 4. 1 (1987) 生徒定員 1, 104 名となる。
- 昭和 62. 12. 5 (1987) 自転車置場 2 棟完成 (25 m 両入)
- 昭和 63. 3. 31(1988) 生徒下足室完成 (139. 24 m²)
- 昭和 63. 4. 1 (1988) 生徒定員 1, 128 名となる。
- 平成 1. 4. 1 (1989) 生徒定員 1, 192 名となる。
- 平成 2. 3. 31(1990) 佐藤信男校長退職。
- 平成 2. 4. 1 (1990) 堀越甫校長に就任する。生徒定員 1, 176 名となる。
- 平成 3. 4. 1 (1991) 生徒定員 1, 152 名となる。
- 平成 4. 4. 1 (1992) 生徒定員 1, 080 名となる。
- 平成 5. 2. 10(1993) パソコン教室完成。(パソコン 23 台設置)
- 平成 5. 3. 9 (1993) 体育館建設工事竣工 (1, 749. 61 m²)
- 平成 5. 3. 31(1993) 図書室に冷房装置設置
- 平成 5. 4. 1 (1993) 生徒定員 1, 081 名となる。
- 平成 6. 3. 31(1994) 堀越甫校長退職。

平成 6.4.1(1994) 小河原榮一校長に就任する。生徒定員 1,048 名となる。

平成 6.10.25(1994) 屋外便所完成 (18.27 m²)

平成 7.4.1(1995) 生徒定員 1,000 名となる。

平成 8.3.29(1996) 自転車置場 1 棟完成 (24 m 片入、47.53 m²) 1 棟解体 (159.55 m²)

平成 8.4.1(1996) 生徒定員 960 名となる。

平成 8.7.11(1996) 校長室、職員室、保健室、進路室、パソコン室に冷房装置設置

平成 9.3.31(1997) 小河原榮一校長退職。

平成 9.4.1(1997) 浅見伯喜校長に就任する。

平成 9.4.8(1997) 入学式挙行 入学者 326 名 生徒数 980 名となる。

平成 9.9.29(1997) 管理棟耐震工事完了

平成 9.9.29(1997) セミナー室設置

平成 10.3.9(1998) 昭和 23 年修了生に修了証明書授与

平成 10.3.10(1998) 第 49 回卒業証書授与式を挙行 卒業生 328 名

平成 10.4.8(1998) 入学式挙行 入学者 320 名 生徒数 965 名となる。

平成 10.6.1(1998) パソコン室のパソコン 32 台更新

平成 10.9.21(1998) 校舎 (HR 棟) 耐震工事完了

平成 11.3.6(1999) 第 50 回卒業証書授与式を挙行 卒業生 320 名

平成 11.4.8(1999) 入学式挙行 入学者 320 名 生徒数 959 名となる。

平成 11.8.31(1999) 校舎 (HR 棟) 一階間仕切他改修工事完了

平成 12.3.10(2000) 第 51 回卒業証書授与式を挙行 卒業生 319 名

平成 12.4.10(2000) 入学式挙行 入学者 320 名 生徒数 952 名となる。

平成 13.3.9(2001) 第 52 回卒業証書授与式を挙行 卒業生 307 名

平成 13.3.31(2001) 浅見伯喜校長退職。

平成 13.4.1(2001) 萩原靖也校長に就任する。

平成 13.4.9(2001) 入学式挙行 入学者 322 名 生徒数 960 名となる。

平成 13.7.13(2001) LAN 設置工事

平成 13.9.13(2001) 照明器具 (PCB) 改修工事

平成 14.3.8(2002) 第 53 回卒業証書授与式を挙行 卒業生 316 名

平成 14.3.22(2002) 西グラウンド防球ネット増設工事

平成 14.3.31(2002) テニスコート整備工事完成

平成 14.4.8(2002) 入学式挙行 入学者 318 名 生徒数 953 名となる。

平成 14.8.6(2002) 体験入学を初めて実施する。(参加者合計 787 名)

平成 14.10.10(2002) 深谷第一高等学校管理棟ほか快適ハイスクール施設設備工事

平成 14.11.15(2002) 同特別教室棟ほか快適ハイスクール施設設備機械設備(給水設備)工事

平成 15.1.28(2003) 同管理棟ほか快適ハイスクール施設設備電気設備(電話)工事

平成 15.3.7(2003) 第 54 回卒業証書授与式を挙行 卒業生 314 名

平成 15.3.24(2003) 北グラウンド防球ネット嵩上げ補修工事

平成 15.4.8(2003) 入学式挙行 入学者 318 名 生徒数 953 名となる。

平成 16.3.9(2004) 第 55 回卒業証書授与式を挙行 卒業生 315 名

平成 16.4.8(2004) 入学式挙行 入学者 318 名 生徒数 947 名となる。

平成 17.3.8(2005) 第 56 回卒業証書授与式を挙行 卒業生 308 名

平成 17.3.31(2005) 萩原靖也校長退職。

平成 17.4.1(2005) 松本昌治校長に就任する。

平成 17.4.8(2005) 入学式挙行 入学者 318 名 生徒数 946 名となる。

平成 18.3.8(2006) 第 57 回卒業証書授与式を挙行 卒業生 308 名

平成 18.4.10(2006) 入学式挙行 臨時学級減により入学者 281 名 生徒数 911 名となる。

平成 19.3.7(2007) 第 58 回卒業証書授与式を挙行 卒業生 311 名

平成 19.4.9(2007) 入学式挙行 入学者 322 名 生徒数 916 名となる。

平成 19.8.31(2007) 創立百周年記念事業 正門・東門改修工事完了

平成 20.2.29(2008) 創立百周年記念事業 管理棟前庭・修徳池改修工事完了

平成 20.3.7(2008) 第 59 回卒業証書授与式を挙行 卒業生 315 名

平成 20.3.31(2008) 松本昌治校長退職。

平成 20.4.1(2008) 西村和男校長に就任する。

平成 20.4.8(2008) 入学式挙行 入学者 318 名 生徒数 909 名となる。

平成 20. 11. 8(2008) 創立百周年記念式典挙行 百周年記念誌を刊行する。
平成 21. 3. 7(2009) 第60回卒業証書授与式を挙行 卒業生270名
平成 21. 4. 8(2009) 入学式挙行 入学者322名 生徒数949名となる。
平成 22. 3. 6(2010) 第61回卒業証書授与式を挙行 卒業生311名
平成 22. 4. 8(2010) 入学式挙行 入学者324名 生徒数955名となる。
平成 23. 3. 8(2011) 第62回卒業証書授与式を挙行 卒業生312名
平成 23. 3. 31(2011) 西村和男校長退職。
平成 23. 4. 1(2011) 山本正校長に就任する。
平成 23. 4. 8(2011) 入学式挙行 入学者318名 生徒数960名となる。
平成 23. 10. 27(2011) プール塗装改修工事
平成 24. 3. 14(2012) 第63回卒業証書授与式を挙行 卒業生318名
平成 24. 4. 9(2012) 入学式挙行 入学者322名 生徒数963名となる。
平成 25. 3. 9(2013) 第64回卒業証書授与式を挙行 卒業生324名
平成 25. 3. 31(2013) 山本正校長退職。
平成 25. 4. 1(2013) 我妻光一郎校長に就任する。
平成 25. 4. 8(2013) 入学式挙行 入学者322名 生徒数958名となる。
平成 26. 3. 12(2014) 第65回卒業証書授与式を挙行 卒業生314名
平成 26. 4. 8(2014) 入学式挙行 入学者320名 生徒数957名となる。
平成 26. 9. 30(2014) テニスコート改修
平成 27. 3. 12(2015) 第66回卒業証書授与式を挙行 卒業生317名
平成 27. 3. 26(2015) グラウンド改修
平成 27. 3. 31(2015) 我妻光一郎校長退職。
平成 27. 4. 1(2015) 八木橋勉校長に就任する。
平成 27. 4. 8(2015) 入学式挙行 入学者322名 生徒数951名となる。
平成 28. 3. 12(2016) 第67回卒業証書授与式を挙行 卒業生315名
平成 28. 4. 8(2016) 入学式挙行 入学者327名 生徒数957名となる。
平成 28. 5. 12(2016) 創立110周年記念事業 トレーニング室改修
平成 28. 11. 30(2016) 創立110周年記念事業 自習室整備
平成 29. 3. 11(2017) 第68回卒業証書授与式を挙行 卒業生306名
平成 29. 3. 31(2017) 八木橋勉校長退職。
平成 29. 4. 1(2017) 小野澤範久校長に就任する。
平成 29. 4. 10(2017) 入学式挙行 入学者328名 生徒総数968名となる。
平成 30. 3. 9(2018) 第69回卒業証書授与式を挙行 卒業生315名
平成 30. 4. 9(2018) 入学式挙行 入学者287名 生徒総数935名となる。
平成 31. 3. 12(2019) 第70回卒業証書授与式を挙行 卒業生323名
平成 31. 4. 8(2019) 入学式挙行 入学者288名 生徒総数897名となる。